



地域医療連携室だより

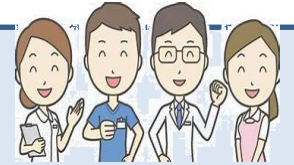
# おおぞら



新年あけましておめでとうございます。日頃より国際医療福祉大学塩谷病院へのご紹介、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。地域医療連携室だより「おおぞら」第15号となります。

整形外科のご紹介

～ 整形外科医長 菊池 駿介 ～



新年明けましておめでとうございます。

2021年4月より国際医療福祉大学塩谷病院整形外科に勤務しております菊池駿介と申します。2016年度にも塩谷病院に常勤医として在籍しており、慶應義塾大学病院での勤務を経て出戻りという形で再度勤務させていただいております。非常勤時代を含めると塩谷病院での診療は7年目ということになり、この地域に非常に縁を感じております。

私は整形外科領域において人工関節とくに股関節を専門とし、その他に骨粗鬆症や一般整形外科を診療させていただいております。人工関節の技術は年々進歩しています。手術の安全性や安定した長期成績が得られるようになり、全国的にも多くの手術が行われておりますが、中には満足されない患者さんもいらっしゃいます。当院では適切な時期に適切な介入をすることを目標としており、手術が必要な患者さんには手術を、手術が不要な患者さんには投薬やリハビリによる介入をおこなっております。手術は筋肉を温存した最小侵襲手術を行い早期の退院が可能ですが、術前には十分な説明をさせていただき、手術の効果と限界に関してご理解いただいたうえで行っております。

また骨粗鬆症治療に関しても積極的に取り組んでおり、躯幹 DEXA による骨密度測定、注射や内服など一通りの薬剤が使用できる環境が整っております。院内においては FLS(骨折リエゾンサービス)という新しいシステムの導入に向けて準備中です。



これは二次骨折の予防を目標にした多職種連携システムで、整形外科医である私を中心に、薬剤師、放射線技師、管理栄養士、リハビリ、事務部などが連携することで、骨粗鬆症の治療漏れがなく、適切な治療の開始と継続を行います。全国的にも脆弱性骨折後の骨粗鬆症未治療は大きな問題となっており、FLS 導入による治療開始・継続率の改善の報告が増えてきております。現在は院内での勉強会と Workshop を重ね、2022年4月からの導入を目指しております。地域の先生方には躯幹 DEXA の共同利用や、注射剤の導入などでご紹介いただけましたら幸いです。今後とも宜しく願い致します。



さくら市喜連川“消防署隣”で開業しております花塚と申します。開業 12 年になります。私のクリニックは、内科系、特に消化器内科、胃腸の内視鏡検査と治療を中心に診療を行っています。これまで培った内視鏡の検査、治療技術を一人一人に寄り添う形で提供することを目標に、上下部内視鏡検査、腹部エコー検査等年間 2,500 件程度施行しています。

二人に一人ががんになる時代ですが、恵まれた事に？特に胃腸系の疾患は、内視鏡検査を行うことで命に関わる前に治療が可能と感じています。気になる症状があったときや胃腸系のがん検診：バリウム検査や、胃がんリスク検診（ABC 検診）、昨今増えている大腸がんについては便潜血検査で要精査となったならば、内視鏡検査を行ってください。昨今のコロナ禍で検診等の受診控えが心配でしたが、検査を先延ばしにしなかったことで救われた方を身近なところで幾人も経験しました。



そういった時に病診連携で高次の病院に速やかに紹介できることのありがたさを感じています。国際医療福祉大学塩谷病院の皆様には特にお世話になっております。先生方、スタッフ方々の迅速な対応と、その後の連携等には驚きと共に大変感銘を受けており、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

写真はその趣味の一つですが、内視鏡写真にも通じるものがあり、どちらも日々飽きが来ません。ハッとするような一期一会の瞬間のために、出かける際はカメラを携帯するようにしています。風景、野生動物、天体などを撮ることが多いです。自画自賛の写真はクリニックの壁面に掛けたりしています。時折愛好家の方と写真やカメラの話に花が咲くこともあります。

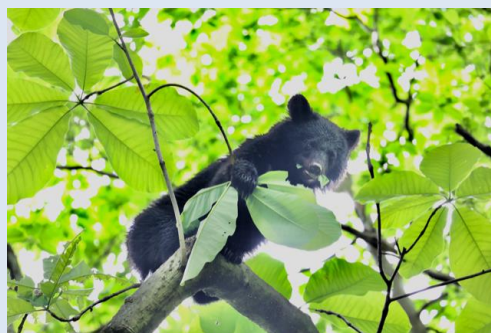


これから地域との先生方と連携し、診療に携わって参りたいと考えています。引き続き御指導の程お願い申し上げます。

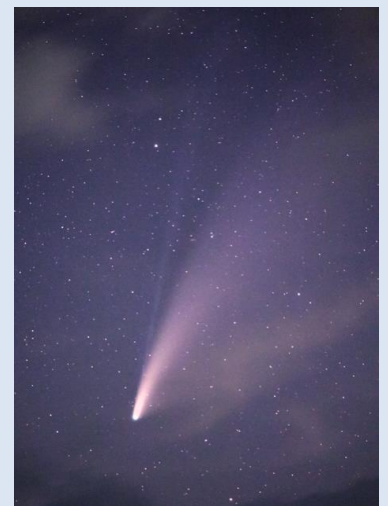
喜連川の桜並木



知床のシマフクロウ



日光で出会った木登りのツキノワグマ



2020 ネオワイズ彗星

～ 花塚先生よりお写真を頂きました。

喜連川の桜並木はもう間もなく、なくなってしまうそうです ～

## 手洗い教室を行いました

当院では、地域で10年以上続けている『手洗い教室』を、実施しています。今年度は緊急事態宣言の解除後の10月19日（火）から、矢板市内及び塩谷地区の幼稚園、保育園、小学校を訪問しております。10月は矢板市の幼稚園・保育園を中心に8施設、11月からは矢板市及び塩谷町の小学校11校を訪問しました。

手洗いの大切さやマスクの正しい脱着方法等をスライドや実演を交え子供たちに伝え、また歌に合わせて正しい手洗い方法を紹介しました。各校の先生からは風邪をひく児童が少なくなったとの声もいただき、大変好評でした。



## 市民公開講座を開催致しました

11月13日（土）塩谷看護専門学校講堂2回目の市民公開講座を開催致しました。糖尿病・代謝・内分泌内科副院長 山内恵史先生が「感染症から身を守る糖尿病治療—新型コロナウイルス感染症流行の中で—」というテーマでお話しされました。今回のテーマである感染症から身を守る糖尿病治療について、人類と糖尿病の歴史から始まり、合併症や併存症、そして最も気になる糖尿病治療と新型コロナウイルス感染症の関係についての話で参加者は熱心に聞き入っていました。質疑応答の時間でも活発な質問が出て参加者も充実した公開講座となりました。



\*\*世界糖尿病デー（11月14日）ブルーライトアップ\*\*

世界糖尿病デーとして、シンボルカラーのブルーで院内のエントランスにライトアップ・造花の飾り付けなどを実施しました。患者様は足を止めてブルーの灯りを見つめていました。世界糖尿病デーとは世界的に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議（UN Resolution 61/225）」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定され、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日に認定したものです。世界糖尿病デーをきっかけに、改めて糖尿病や予防について考える機会となりました。



## \* 地域医療連携室スタッフ一同 \*



明けましておめでとうございます。

昨年も大変、お世話になりました。今年こそ、以前の日常が戻ることを願いながら日々頑張っていきたいと思っております。まだまだ緊張は続くと思われませんが、どうぞよろしくお願い致します。

\*\*今年も2コール以内に電話に出るよう努力します！\*\*

地域医療連携室 月曜日～土曜日 8:30～17:30

TEL 0287-44-2722 FAX 0287-43-4788

